

# 平成27年度 移住促進策のバージョンアップ

## 【バージョンアップのねらい】

○平成27年度の目標に掲げる県外からの移住者数「500組」の達成に向け、国の「地方創生」の動きと連動するとともに、各産業分野や県・市町村・民間団体との連携を更に深め、「ALL 高知家」による移住促進策の展開を図る。

平成26年度の実績



### 目標達成に向けた課題

- 課題1**
  - 国の「地方創生」の動きの中で、激化する他県との競争に打ち勝つ必要
- 課題2**
  - 増加する移住相談に的確に対応し、移住希望者をスムーズに移住・定住に繋げるためには県・市町村の受け入れ体制の更なる整備促進が必要
- 課題3**
  - 県・市町村・民間団体の移住関連イベントが個別に展開されており相乗効果が十分に発揮されておらず、スムーズなパス回しを意識してイベントを開催することが必要
  - 各産業分野が実施する担い手確保の施策に加え、目的が明確でない人財に情報を届けることが必要
- 課題4**
  - 移住後のミスマッチをできるだけ防ぐため、移住前・移住後の支援策の質、量の更なる拡大が必要

### 課題解決に向けた平成27年度当初予算の概要 (見積額 230,347千円)

- 全国移住促進センター(仮)を最大限活用**
  - 【再掲】移住・交流総合案内業務委託料 59,410千円
    - ・移住・交流コンシェルジュ (東京) の体制の充実 (1→2名)
  - 【再掲】【地産地消・外商課】高知家プロモーション推進事業費 124,743千円
    - ・移住への入り口である高知ファンづくり (ステップ1) から、暮らし隊会員登録 (ステップ3) までを「高知家」プロモーションと一体となって展開。
  - 【NEW】広報素材等作成委託料 3,250千円
    - ・相談ブースの装飾等を高知家のトーン&マネーに揃え、ALL高知家の一体感を演出
- 県内の地域地域で「ひと(移住希望者)」を呼び込む受け入れ体制の整備促進**
  - 【再掲】【再掲】移住・交流総合案内業務委託料 59,410千円
    - ・移住・交流コンシェルジュによるサポート体制の充実 (6→9名)
  - 【再掲】移住促進事業費補助金 114,000千円
    - ・市町村専門相談員の配置拡大 (H26:19市町村→H27:30市町村(予定))
- 県・市町村・民間団体と連携協調した移住促進戦略の展開**
  - 【再掲】【再掲】移住・交流総合案内業務委託料 59,410千円
    - ・都市部における全国規模の相談会への出展強化
  - 【再掲】移住促進事業費補助金 114,000千円
    - ・相談会等に市町村が出展する経費や、市町村独自の移住体験ツアーを支援
  - 【NEW】スムーズなパス回しを意識した相談会、体験ツアー等の開催
  - 【再掲】高知家プロモーション推進事業費 124,743千円
    - ・県のHP「高知家で暮らす」のコンテンツに仕事別に加え、「子育て」「アクティブシニア」など暮らし方や世代に着目したコンテンツを追加
  - 【再掲】人財誘致促進事業費 23,922千円
    - ・多種多様な人財の獲得に向けて、事業承継・人材確保センターとの連携
- 移住後のミスマッチの防止**
  - 【再掲】【再掲】移住・交流総合案内業務委託料 59,410千円
  - 【再掲】移住促進事業費補助金 114,000千円
    - ・移住・交流コンシェルジュの体制充実や市町村専門相談員の配置拡大により、相談段階で地域の情報などを十分に提供 ※地域移住サポーターの普及も実施
    - ・お試し滞在施設の整備と併せて体験ツアー等のソフト事業の実施を促進
  - 【NEW】高知市周辺部でのお試し滞在の促進

**【共通】**

**KIP (高知家移住促進プロジェクト) の取り組みの更なる支援**

【再掲】移住促進事業費補助金 114,000千円

民間のネットワークを活かし、クリエイター層をターゲットにした都市部でのイベントの開催などを支援

# スムーズなパス回しを意識した移住にかかる相談会、体験ツアー等の開催

## 考慮すべき事項

- 国を挙げた地方創生の動きによって、これまで以上に相談者が増えることが確実視
- 住みたい場所、やりたい仕事など、明確な目的を持つ相談者に加え、明確なイメージを持たず、まずは相談会に来るといふ漠然とした相談者が多いものと予測

## 基本的な考え方

- 相談会、体験ツアー等を効率的に開催しスムーズなパス回しを行う
  - ①目的が漠然としている相談者に対しては、最も間口の広い相談会を各分野の相談会の手前に設定し、個別の相談会、更に深い体験ツアー等へと繋げる
  - ②目的が明確な相談者に対しては、相談の機会を増やし年間を通じた切れ目ない相談会を確保する
- 相談会のプロモーションは、間口の広い相談会と個別相談会をセットで行い、集客の効果を最大限に引き出す

## 具体的なイメージ



## 間口の広い相談会

- 〔対象〕 全ての移住希望者  
 様々な求人分野、多くの市町村が参加
- 〔単独開催〕
- 高知暮らしフェア : 5月 (東京・大阪)
  - : 12月 (東京・大阪)
- コンシェルジュが各分野の情報を 持って参加
- 〔共催〕
- ふるさと回帰フェア : 9月 (東京・大阪)
  - JOINフェア : 1月 (東京)
  - 中四国フェア : 11月 (大阪)
  - 四国暮らしフェア : 6月 (東京)

## 個別・ターゲット別の相談会

- 〔対象〕 一次産業への就業希望
- 一次産業相談会
- 〔対象〕 起業・就職希望
- 高知家カフェ
- 〔対象〕 更に深く高知を知りたい
- 笑談会
- 市町村別

## 体験ツアー・講習会等

- 〔対象〕 農業希望
- アグリスクール
- 〔対象〕 漁業希望
- 漁業体験研修
- 〔対象〕 就職希望
- マッチング交流会
- 〔対象〕 実際に高知を体験したい
- 移住体験ツアー
- 地域別 ●体験型

市町村・民間団体も参画

## 平成27年度 移住にかかる相談会、体験ツアー等の開催スケジュール (案)

【対象となるツアー等の前提条件】  
 ○対象者は県外在住者を含む  
 ○県外在住者向けのプロモーションを実施 (HPでの告知等)

## 2か月ブロックでプロモーション

	4月			5月			6月			7月			8月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
移住				高知暮らしフェア 東京・大阪	笑談会 ツアー				四国暮らしフェア 東京			新 一次産業相談会	笑談会	高知家カフェ	ふるさと回帰フェア(大阪) 8/22
U・Iターン				U・Iターン就職相談会 東京・大阪				四国4県合同就職面接会 大阪6/27			UIターン就職相談会 名古屋・大阪			U・Iターン就職相談会 高知8/15	
起業				高知暮らしフェア											
農業				高知暮らしフェア				農業人フェア 大阪		農業人フェア 東京					
林業				高知暮らしフェア											
漁業				高知暮らしフェア				漁業就業フェア 福岡・大阪・東京							
伝統産業				高知暮らしフェア											U・Iターン就職相談会 高知8/15
医師															
看護師	ハローワーク就職相談会 高知			ハローワーク就職相談会 高知			ハローワーク就職相談会 高知			ハローワーク就職相談会 高知			ハローワーク就職相談会 高知		ハローワーク就職相談会 高知
福祉・介護職	ハローワーク就職相談会 高知			ハローワーク就職相談会 高知			ハローワーク就職相談会 高知			ハローワーク就職相談会 高知			ハローワーク就職相談会 高知		ハローワーク就職相談会 高知
教員							採用説明会 東京、大阪、神戸、京都 + 大字説明会								
保育士															
建設業 (有資格者)															
地域おこし協力隊															
その他イベント等															
市町村実施分	上記のスケジュールを市町村に展開し、高知家全体のスケジュールを完成														
民間団体実施分	上記のスケジュールを民間団体に展開し、高知家全体のスケジュールを完成														

# 地域別移住実績及び受入体制の状況(H26.12末時点)

## 1. 地域別移住者数(単位:組) ※H26.12月末時点

**移住実績(12月末)**

**286組466人**

※移住先地域不明者  
(12組24人を含む)

安芸地域

35組62人

物部川地域

5組11人

高知市地域

77組126人

嶺北地域

21組25人

仁淀川地域

34組55人

高幡地域

47組67人

幡多地域

55組96人

## 2. 専門相談員、地域移住サポーター配置状況

※H26.12月末時点

### 👤 専門相談員の配置

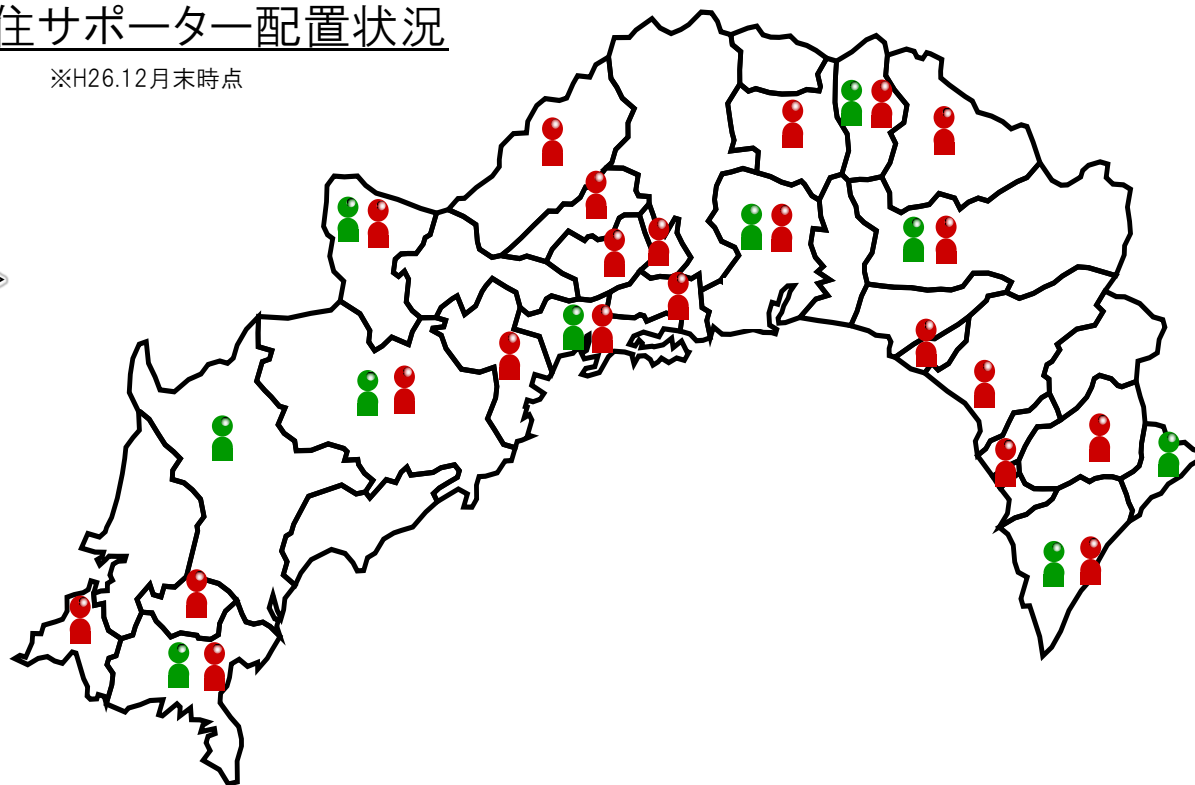
H26年度：22市町村

<H25年度：18市町村>

### 👤 地域移住サポーターの配置

(平成25年度からの取り組み)

H26年度：10市町43人



# 県の窓口を通じた移住実績内訳(H26.12末時点)

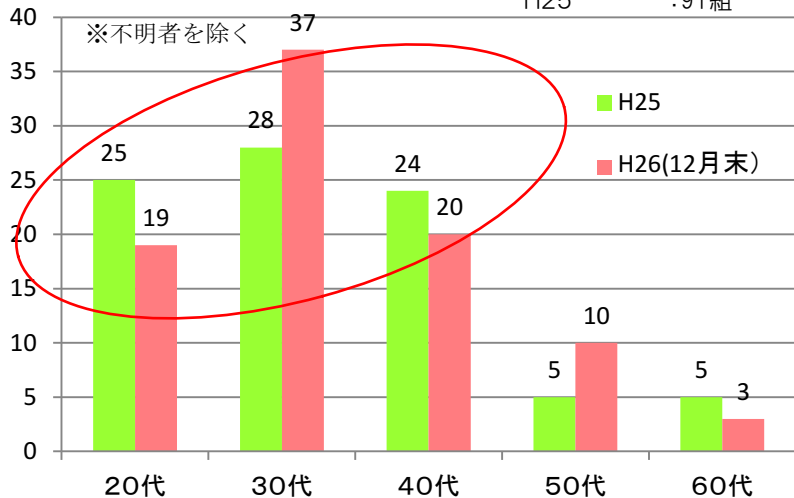
県の移住相談窓口「移住・交流コンシェルジュ」を通じて、移住された方の実績

※12月末時点

H21:7組19人→H22:22組34人→H23:47組104人→H24:64組111人→H25:91組168人→H26:97組178人

## 1. 年代別移住者数(単位:組)

H26(12月末):97組  
H25 :91組

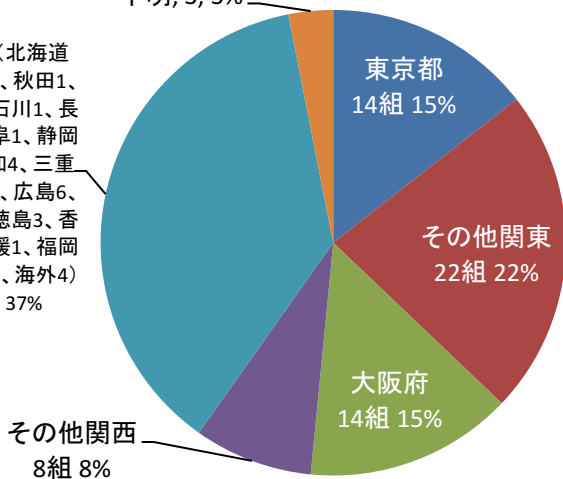


## 2. 移住前住所地(単位:組)

H26(12月末):97組

不明, 3, 3%

その他(北海道  
1、宮城1、秋田1、  
富山1、石川1、長  
野1、岐阜1、静岡  
3、愛知4、三重  
2、岡山1、広島6、  
山口1、徳島3、香  
川2、愛媛1、福岡  
1、沖縄1、海外4)  
36組 37%



## 3. 移住前、移住後住所地等

※不明者を除く、( ) はH25年度実績

### <移住後 市町村>

高知市	45組 78人(34組 59人)	土佐市	1組 1人( - )
土佐清水市	5組 8人(1組 4人)	香美市	1組 3人(2組 7人)
須崎市	4組 5人( - )	東洋町	1組 2人( - )
四万十市	4組 8人(7組 14人)	奈半利町	1組 2人( - )
佐川町	4組 7人( - )	芸西村	1組 3人( - )
香南市	3組 7人(3組 11人)	土佐町	1組 1人(1組 4人)
仁淀川町	3組 7人(1組 1人)	いの町	1組 1人(1組 1人)
四万十町	3組 6人(4組 9人)	中土佐町	1組 1人( - )
室戸市	2組 6人(1組 1人)	日高村	1組 4人( - )
大月町	2組 5人(1組 1人)		
安芸市	1組 1人(4組 8人)		

※H25年度に実績があった南国市、田野町、  
本山町、大豊町、黒潮町大川村はH26年度実  
績なし

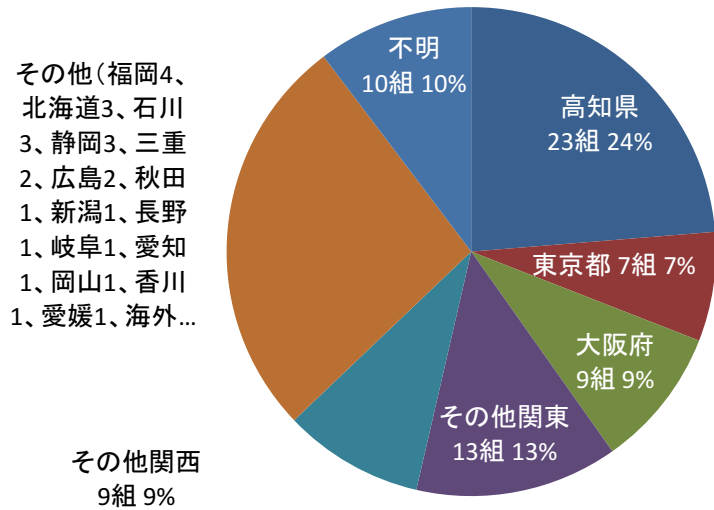
### <移住前 住所地《都道府県》>

北海道	1組 1人(2組 5人)
宮城県	1組 1人(1組 2人)
秋田県	1組 1人( - )
富山県	1組 1人( - )
石川県	1組 1人( - )
長野県	1組 1人( - )
岐阜県	1組 1人( - )
京都府	1組 1人(2組 5人)
和歌山県	1組 4人( - )
岡山県	1組 1人(2組 2人)
山口県	1組 3人( - )
愛媛県	1組 1人(2組 4人)
福岡県	1組 3人(1組 2人)
沖縄県	1組 3人( - )
東京都	14組 24人(20組 31人)
大阪府	14組 27人(13組 27人)
神奈川県	8組 16人(7組 15人)
埼玉県	7組 18人(4組 9人)
広島県	6組 11人(2組 3人)
千葉県	5組 11人(4組 6人)
愛知県	4組 9人(4組 6人)
兵庫県	4組 5人(9組 17人)
海外	4組 6人(1組 2人)
静岡県	3組 5人(1組 2人)
徳島県	3組 5人( - )
茨城県	2組 3人(4組 9人)
三重県	2組 4人( - )
奈良県	2組 4人( - )
香川県	2組 2人(1組 1人)

※H25年度に実績があった福島県、奈良県、  
群馬県、島根県、青森県、滋賀県、鳥取県は  
H26年度実績なし

#### 4. 出身地(単位:組)

H26(12月末):97組

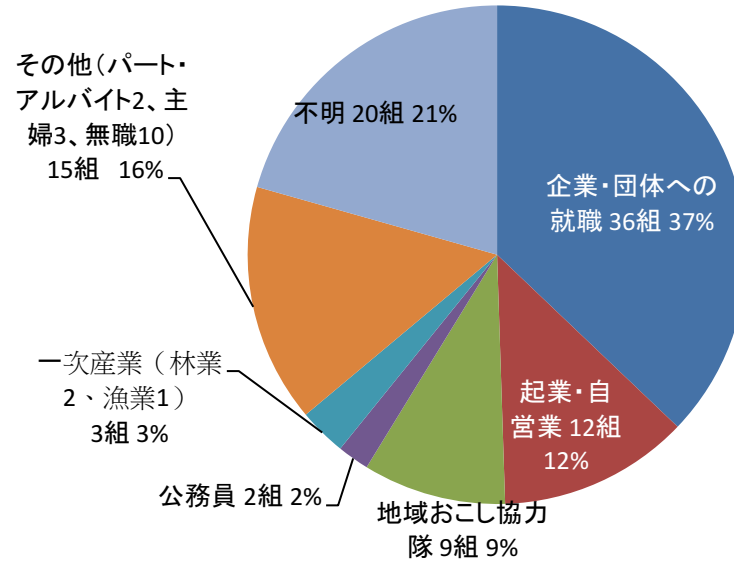


##### <Uターン・ターンの別>

Uターン(高知出身)	23組	24%
ターン(高知以外出身)	64組	66%
不明	10組	10%

#### 5. 移住後の就業等の状況(単位:組)

H26(12月末):97組



##### <起業・自営業の中身>

イラストレーター、リラクゼーションサロン経営、天敵昆虫生産、イタリア語講師、ブロガー、製紙業、遍路宿経営、データ作成業務、フリーランス、ライター、サロン、コンサル ※各1組